

加賀前田藩因縁の地文京から、



チケット：S席 5,500円 A席 4,500円  
B席 3,500円 学生席 2,500円  
チケット取り扱い：11月1日（金）発売  
東京コンサーツ  
Tel.03-3226-9755  
Fax.03-3226-9882  
<http://www.tokyo-concerts.co.jp>  
ローソンチケット：0570-000-407  
Lコード31582  
東京文化会館チケットサービス  
Tel.03-5685-0650  
<http://www.t-bunka.jp>  
シビックチケット（11月15日（金）より発売）  
Tel.03-5803-1111/ 10:00~19:00  
（土・日・祝日も受付 但し12/28~1/4  
は休業）

甦れ日本！和楽とオーケストラのコラボレーション！

# 和と洋の想を聴く

作曲・指揮 高橋裕 管弦楽 オーケストラ・アンサンブル金沢

2014年3月26日（水） 開演・18時30分 開場・18時

文京シビックホール 大ホール



〔全曲 高橋裕、オーケストラ・アンサンブル金沢委嘱作品〕

笙とオーケストラのための”風籟“（1992）

笙・石川高

琵琶とヴァイオラ、オーケストラのための”二天の風“（2013）

琵琶・田中之雄 ヴァイオラ・須田祥子

能とオーケストラのための”葵上“（2006）

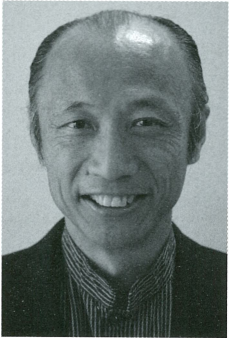
能楽・観世喜正・神遊

主催：高橋裕・和と洋の想を聴く実行委員会  
共催：文京シビックホール（公益財団法人 文京アカデミー）  
公益財団法人 石川県音楽文化振興事業団  
協力：オーケストラ・アンサンブル金沢  
一般社団法人 文化教育サポーターズ  
助成：公益財団法人 全国税理士共栄会文化財団  
公益財団法人 朝日新聞文化財団  
公益財団法人 文化財保護・芸術研究助成財団  
協賛：株式会社コロナ  
後援：石川県、文京区、金沢市、文京区教育委員会  
金沢市教育委員会、公益財団法人 金沢芸術創造財団  
社団法人 日本作曲家協議会、日口音楽家協会  
アプサラス  
マネージメント：東京コンサーツ  
問い合わせ先：東京コンサーツ 03-3226-9755



# 和と洋の想を聴く

## プロフィール



### 高橋 裕：作曲・指揮

1953年 京都に生まれる。1977年 東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。1980年 東京芸術大学大学院作曲専攻修了。「Sinfonia Liturgica」が日本交響楽振興財団作曲賞入選。1983年「般若理趣交響曲」が世界仏教音楽祭コンクール第1位受賞。1987年「弦楽四重奏曲」が国際カール・マリア・フォン・ウェーバー室内楽コンクール第1位受賞。1988年 藤堂音楽賞受賞。1991年「Symphonic Karma」が第1回芥川作曲賞受賞。1992年 箏とオーケストラのための「風籟」がオーケストラ・アンサンブル金沢より特別賞を与えられる。1993年 京都新人賞受賞。1997年 2枚組CD「シンフォニック・カルマ／高橋裕管弦楽作品集」がDENONよりリリースされレコード芸術の特選に選ばれる。2003年 高橋裕 室内楽作品展を開催する。作品は、ヨーロッパの各国から北米、中南米他、6大陸にわたる数多くの国々で演奏されてきている。指揮者としては、自らのオーケストラ作品を京都アルティ合奏団や東京フィルハーモニー交響楽団、オーケストラ・アンサンブル金沢等で指揮をし、また高橋晴美と自ら率いるオーケストラや合唱団とともに、東北3県や全国各地で数々のチャリティーコンサートを行ってきている。池内友次郎、松村禎三、黛敏郎の各氏に師事。これまで東京芸術大学音楽学部、同附属音楽高等学校にて後進の指導にあたってきている。

現在、日本作曲家協議会、日本著作権協会、京都音楽家クラブ各会員。日口音楽家協会運営委員、アブサラス会長。



### 石川 高：笙

1990年より笙の演奏活動をはじめ、国内、世界中の音楽祭に出演。雅楽団体「伶楽舎」に所属し、近頃は催馬楽など雅楽の歌謡でも高い評価を受けている。雅楽古典曲のみならず、現代作品や自主作品の演奏、即興も情熱的に行っている。

2010年には MusikTriennale (ケルン)、Jazz em Agosto (リスボン)、2011年には Stanford Pan-Asian Music Festival (カリフォルニア)、2012年には Sound of Stockholm (ストックホルム)などで演奏している。高橋裕作曲「風籟」には初演から参加し、日本各地において演奏を重ねてきた。



### 親世喜正：シテ (六条御息所)

1970年生れ。同流三世親世喜之の長男。神楽坂の矢来能楽堂を本拠地に、全国各地で公演に出演するほか、能の普及事業・謡曲指導に務め、謡曲のCD化、能公演のDVD作成など能楽教材のソフト化にも積極的に取り組む。

公益社団法人親世九華会・公益社団法人能楽協会 理事。法政大学大学院、皇學館大学文学部にて非常勤講師。NHK 邦楽技能者育成会講師。シンガポールITIの講師を務める。著書「演目別に見る能装束」(淡交社)、DVD「スピカろうそく能」(日本伝統文化振興財団)の主演・作成・監修。



### 田中之雄：琵琶

東京都出身 鶴田流琵琶演奏家 1973年 NHK 邦楽技能者育成会 18期卒業、1979年日本琵琶楽コンクール第1位ならびに文部大臣賞・日本放送協会賞受賞 国立劇場主催公演、リサイタルなどの演奏活動のほか、「ノヴェンバー・ステップス」等武満徹作品をはじめ、古典から現代作品まで国内外のフェスティバル、コンサートにも多数出演

2010年サイトウ・キネン・オーケストラ 下野竜也指揮による武満徹作曲「ノヴェンバー・ステップス」をニューヨーク・カーネギーホールにて演奏。NHK大河ドラマ他、映画の音楽の琵琶の演奏も数多く担当する。

現在、東京音楽大学講師、日本琵琶楽協会常任理事、鶴田流琵琶鶴翔会会長、鶴田流琵琶鶴旺会主宰。



### 佐久間二郎：ツレ (照日の巫女)

### 館田善博：ワキ (横川小聖)

### 森常太郎：ワキツレ (臣下)

### 神遊：

神遊 (かみあそび) 神遊とは一、能楽師の家に生まれ、幼いころから能の舞台に立つ同年代の能楽師5名が1997年から活動している能楽師グループである。より広い世代に能楽を楽しむ見ていただきたいという思いと、自己の芸の研鑽、確かな能楽を未来へ残すことを目的として自主公演や普及活動を行う。

### 一噌隆之：笛

### 親世新九郎：小鼓

### 柿原弘和：大鼓

### 親世元伯：太鼓

### 親世喜正：シテ

### 後見：遠藤喜久 中森健之介

### 地謡：馬野正基 小島英明 坂真太郎 桑田貴志

### 舞台監督：小池和彦

### 音響：有馬純寿



### 須田祥子：ヴィオラ

6歳よりヴァイオリンを始め、桐朋学園大学在学中にヴィオラに転向、98年同大学を首席で卒業。2006年、東京フィルに首席奏者として入団。2007年からは洗足学園にて後進の指導にもあたっている。これまでにヴァイオリンを室谷高廣、ヴィオラを岡田伸夫の各氏に師事。第23回プレミオ・ヴィットリオ・ガイ国際コンクール、第2回淡路島じづかホールヴィオラコンクールなど多数のコンクールで第1位優勝。皇居内御前演奏会、ヴィオラスペース、サントリー芸術財団サマーフェスティバル等数多くのソロ演奏や、全国各地のオーケストラで首席奏者として客演やソリスト出演をする機会も多く、幅広い分野で活躍している。

## オーケストラ・アンサンブル金沢：管弦楽

1988年、世界的指揮者、故岩城宏之が創設音楽監督(現在、永久名誉音楽監督)を務め、多くの外国人を含む40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。2001年金沢駅前が開館した石川県立音楽堂を本拠地とし、世界的アーティストとの共演による年20回の定期公演や、北陸、東京、大阪、名古屋での定期公演など年間約110公演を行っている。2011年夏、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭(ドイツ)、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノフェスティバル(フランス)からの招聘を含む15度目となる海外公演を実施。設立時よりコンポーザー・イン・レジデンス(現コンポーザー・オブ・ザ・イヤー)制を実施、多くの委嘱作品を初演、CD化している。ジュニアの指導、学生との共演、邦楽との共同制作などオーケストラ育成・普及活動にも積極的に取り組んでいる。ドイツグラモフォン、ワーナーミュージックジャパン、エイベックスなどメジャーレーベルより90枚を超えるCDを発売。07年1月より、指揮者の井上道義を新音楽監督に迎え、新たな活動を展開し、注目を集めている。08年より毎年開催されている世界的音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ金沢」の中心的役割を担っている。

